

## 1. 応募資格

- 1) 発表の筆頭者は、本学会の会員に限る。
  - (1) 非会員の場合は、演題登録締め切り日までに入会手続を行う。

## 2. 対象とする演題

演題は、以下の要件を満たすものとする。

- 1) 演題種別
  - (1) 研究発表
  - (2) 実践・活動報告
- 2) 応募の要件
  - (1) 研究、実践・活動報告は未発表のもの（施設内発表を除く）
  - (2) 研究発表の場合は、倫理審査を受けたことを抄録内に明記されているもの
  - (3) 発表形式は、口演または示説であること

## 3. 抄録原稿作成上の注意事項

- 1) 原稿は、「なごや看護学会ホームページ」に掲載されたテンプレートを用いて作成すること。
- 2) フォントはMS明朝体 10.5ポイント、レイアウトは40字×40字に設定されているため変更しないこと。
- 3) 表紙に必要事項を記載すること。
  - (1) 入会手続き中の場合は、会員番号は「999」と記載する。
  - (2) 必ず連絡が取れる筆頭者の連絡先を記載すること。記載された以外の連絡先には連絡をしないため確実に連絡が取れる連絡先を記載する。
    - ・ 共同研究者との連携を行う場合は、投稿者同士で連絡を取ることとし、学術集会事務局は、対応しないため注意すること。
- 4) 文字数は1200字程度とする。図表を挿入する場合は、大きさを考慮し、文章を含めてA4サイズ1ページに収める。
- 5) 下記の例に沿って、発表者氏名、所属を記載する。
  - (1) 氏名は姓・名の上に空欄を設けず記載し、すべての発表者に所属がわかるように上付きで「\*番号」を付す。
  - (2) 抄録内の所属は「施設名」のみを明記し、所属の前に「\*番号」を付す。
    - ・ 部署・病棟名などは記入しない。

○○○○\*1, ○○○○\*1, ○○○○\*2

\*1名古屋市立大学病院

\*2名古屋市立大学

- 6) 抄録は横書きで構成するため、読点は縦書きの際に通常使用する「、」ではなく「, (全角コンマ)」とし、句点「。」は「. (全角ピリオド)」とする。
- 7) 引用・参考文献を記入する場合は、「なごや看護学会誌執筆要領」(下記参照)に準じて記載する。
- 8) ファイル名は「会員番号・筆頭者」として提出する。

#### 4. 引用・参考文献の記載方法

##### A. 文中の引用について

- (1) 文中の引用箇所には「著者の姓(西暦文献発行年)」を付けて表示する。

例：著者名によると、「－<引用文>－である」と述べている場合  
鈴木(2010)によると、「－<引用>－である」と述べている。

- (2) そのままの引用ではないが、要約または参考にした文献は、引用の場合と同様にそれについて述べた後にカッコを付し、著者名と発行年次を表示する。

例：－<要約>－である。  
－<要約>－である(鈴木,2011)。

- (3) 2名の著者による単独の文献の場合、その文献が本文に出現するたびに常に両方の著者名を表記する。

例①：著者名と著者名は「－<引用文>－である」と述べている場合  
鈴木と佐藤(2011)は、「－<引用>－である」と述べている。  
例②：全文ではなく要約をした場合  
－<要約>－(鈴木&佐藤,2011)。

- (4) 著者が3名以上の場合、文中の引用では最初の著者名のみ、文章の後のカッコ内には3名までの著者名を表記する。

例：①大野ら(2012)によると、「－<引用>－である」と報告されている。  
②－<要約>－(大野, 中山, &橋本他,2012)。  
③－<要約>－(White, Brown, & Black, et al.2012)。

- (5) 複数の文献を引用した場合は筆頭著者のアルファベット順に表示し、セミコロンで並べる。

例：(中山, 2014; 佐藤& 橋本, 2011)

- (6) 同一著者による、同じ年に発行された異なる文献を引用した場合は、発行年のうしろにアルファベット小文字を付し、これらの文献を区別する。

例：2010a, 2010b

- (7) 同一文献の異なるページまたは複数ページを引用する場合は、引用後に著者名,発行年,ページ数を書き添えて引用箇所を明確にする。

例：①－<引用>－(中山, 2006, p105, 118)  
②－<引用>－(中山, 2006, p104-105)

- (8) 翻訳本を引用した場合には、著者名(原作出版年/翻訳本出版年)を表示する。

例：Walker & Avant(2005/2008)によると、－<引用>－。

##### B. 文末の文献リストについて

- (1) 本文原稿の最後に【文献】とする。  
(2) 一括して、著者名のアルファベット順に列記する。  
(3) 文献リストの記載方法は下記の例に従う。  
2行以上にわたる場合は、2行目以降を2文字分下げる。  
(4) 雑誌の場合

著者名.(発行年). 表題. 雑誌名,巻(号), 頁-頁.  
例：文献の著者が複数で共著者が4名以上の場合には最初の3名を記載する。  
著者名の後に「他」、欧人著者の場合は「et al.」とする。

岸恵美子,吉岡幸子,野村祥平,他. (2011). 専門職に係わる高齢者のセルフ・ネグレクト事例の実態と対応の課題; 地域包括支援センターを対象とした全国調査の結果より. 高齢者虐待防止研究, 7, 125-128.

(5) 単行書の場合

例①: 著者(編者). 名発行年(西暦).書名(版). 所在地; 出版社.

阿部幸恵. (2013). 看護実践能力を育てる! 看護のためのシミュレーション教育. 東京; 医学書院.

例②: 編者, 監修者のある本の一章の場合

その章の著者名発行年(西暦).その章の表題.編者名, 書名(pp 頁-頁). 所在地; 出版社.

麻原きよみ. (2002). 地域診断. 尾崎米厚,鳩野洋子,島田美喜 編, いまを読み解く保健活動のキーワード. 東京; 医学書院.

(6) 翻訳本の場合

例: 著者名(原著発行年)/訳者名(発行年).翻訳書の書名(版). 発行地; 出版社.

Walker, L.O.& Avant, K.C.(2005)/中木高夫・川崎修一訳(2008). .看護における理論構築の方法. 東京; 医学書院.

(7) 電子文献(Web サイト, Web ページ)

例) 著者名(投稿・掲載の年月日).Web ページのタイトル.Web サイトの名称.入手先(URL 等).(検索した年月日).

例: 厚生労働省健康局健康課. 平成 27 年国民健康・栄養調査結果の概要.  
<http://www.mhlw.go.jp>.(2018.02.12 閲覧).

(8) オンライン版

例: DOI がない場合

著者名. (年号). 論文タイトル. 収載誌名, 巻(号), 開始頁-終了頁. URL(参照年月日).

名古屋花子. (2017). 看護研究の基本. 日本看護研究学会誌, 7(1), 4-15.

123.<http://www.kkkkkkkk>(参照 2017.11.17).

例: 印刷前であるがオンラインになっている場合

著者名. (年号). 論文タイトル. 収載誌名,巻(号),開始頁-終了頁,doi:DOI 番号

Kobayashi T., Sugiura K., & Ojima T. (2019). Risks of thromboembolism associated with hormonal contraceptives in Japanese compared to Western women. J Obstet Gynaecol Res 2017 Apr 19. doi: 10.1111/jog.13304. [Epub ahead of print]

**【執筆に関する問い合わせ】**

第 7 回なごや看護学会学術集会事務局

e-mail [nna-shukai@n-kango.org](mailto:nna-shukai@n-kango.org)